

文化財保護（平成18年度）

久留倍遺跡保存活用事業

(1) 国史跡指定

久留倍遺跡は、一般国道1号北勢バイパス建設に伴い発掘調査された遺跡である。調査の結果、以下のような特徴を持つことがわかった。

①政庁・正倉院等が明瞭に把握でき、その変遷が判明する点で貴重である。

②八脚門を備え、東を正面とする政庁は、全国的にも希少な事例である。

③古代国家の地方支配体制の成立、展開過程における官衙の在り方を具体的に示すものとして極めて貴重である。

④遺跡が所在する伊勢国朝明郡には、壬申の乱や聖武天皇東国（伊勢）行幸に関わる記事が『日本書紀』『続日本紀』にあり、これらの歴史と本史跡が密接に結びつく可能性がある。

このような状況を受け、四日市市はもとより、全国的にも貴重な文化財のため、平成18年2月に国史跡指定の申請を行い、同18年7月28日に指定された。

史跡面積 21,450.51㎡

史跡名称 久留倍官衙遺跡



(久留倍官衙遺跡全景)

(2) 久留倍官衙遺跡整備基本計画書の策定

全国的にも貴重な文化財である久留倍官衙遺跡の歴史的文化遺産としての保存並びに活用を図るため、その整備の基本的な方向性を定めた基本計画を策定した。

(3) 学術調査

日時	H18年7月4日～7月26日
目的	整備計画立案のため
面積	2,150㎡
備考	国庫補助事業

(4) 調査整備指導委員会

日時	H18年8月31日, 12月8日, H19年3月13日
----	-----------------------------

場所	大矢知地区市民センター, 四日市市役所, 四日市市総合会館
内容	・整備基本計画について ・学術調査の成果について ・北勢バイパス付帯工事計画について
委嘱者	(委員長) 三重大学名誉教授 八賀 晋 (副委員長) 三重大学教授 山中 章 奈良文化財研究所遺跡整備研究室長 山中 敏史 岐阜大学教授 早川 万年 奈良文化財研究所飛鳥資料館研究員 清永 洋平

普及・公開活動

市内の指定文化財・登録文化財をホームページで公開している。また、発掘調査の成果を幅広く市民に公開するために、以下の事業を行った。

(1) 第11回発掘展

日時	H18.7.19～8.27
場所	四日市市立博物館1階エントランスホール
内容	前年度発掘調査速報（久留倍遺跡・貝野遺跡・古里遺跡・北中寺遺跡） 国指定史跡久留倍官衙遺跡
入場者数	11,185名

(2) 出土品展示

期間・内容	H18.4～	市指定文化財 御池古墳群出土品 北中寺遺跡出土品
	H18.5～	上野遺跡
	H18.8～	青木川古墳群
	H18.11～	智積廃寺
場所	市役所ロビー	

(3) 施設利用・遺跡見学等

日時	施設・遺跡	利用者
H18.10.16	文化財整理作業所	高角町ふれあい広場
H18.10.5	久留倍遺跡(遺跡見学)	大矢知興譲小学校

(4) 出前講座

日時	利用団体等
H18.6.10	保々歴史を語る会
H18.9.16	保々歴史を語る会
H18.10.11	大矢知興譲小学校
H18.10.21	久留倍官衙遺跡を考える会

(5) 久留倍遺跡現地説明会

場所	久留倍遺跡発掘調査現場	日時	H18.11.11
見学者数	約350名		

(6) 学校への出土遺物貸出

神前小学校・八郷小学校・大谷台小学校

文化財の維持管理等

草刈・清掃	国指定天然記念物 御池沼沢植物群落
	国指定天然記念物 東阿倉川イヌナシ自生地
	国指定天然記念物 西阿倉川アイナシ自生地
	市指定天然記念物 桜町シデコブシ自生地
	県指定記念物(史跡) 天武天皇迹太川御遙拝所跡
	県指定記念物(史跡) 広古墳A群
	市指定記念物(史跡) 大膳寺跡
	市指定有形文化財(建造物) 旧四日市市役所四郷出張所(四郷村役場)
	市指定記念物(史跡) 茂福城跡
	市指定記念物(史跡) 冠山茶の木原
	永井遺跡公園
	保々首塚公園
	貝野遺跡公園
説明板の 取替	国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」
	市指定民俗文化財(無形)「椿岸神社獅子舞」
新設	国指定記念物史跡「久留倍官衙遺跡」

第53回文化財防火デー

1月26日の文化財防火デーを中心に査察37カ所を1月22日～25日に、消防訓練3カ所を1月24日～28日に実施した。

埋蔵文化財の発掘調査等

開発行為計画地内に所在する埋蔵文化財で、事前協議の結果、現状保存できないものについて、記録保存のための発掘調査、試掘調査、工事立会を実施した。

[発掘調査]

No.	遺跡名	所在地	調査原因
1	久留倍遺跡	大矢知町	史跡整備
2	久留倍遺跡	大矢知町	学術調査

[試掘調査]

No.	遺跡名	所在地	調査原因
1	小判田遺跡	芝田町	共同住宅
2	貝野遺跡	東坂部町	個人住宅
3	羽津広遺跡	大矢知町	携帯電話無線基地局
4	山之瀬遺跡	寺方町	宅地造成
5	宮ノ下遺跡	小古曾町	共同住宅
6	羽津広遺跡	大矢知町	携帯電話無線基地局
7	生泉遺跡	生泉町	共同住宅

[工事立会]

No.	遺跡名	所在地	調査原因
1	大膳寺跡(隣接地)	別名	個人住宅
2	古里遺跡	日永西	駐車場
3	北中寺遺跡(隣接地)	城西町	共同住宅
4	南奥遺跡	泊村	擁壁工事
5	四方天遺跡(隣接地)	大矢知町	共同住宅
6	北中寺遺跡(隣接地)	石塚町	店舗建設
7	雲天遺跡	大矢知町	電柱支線設置
8	斑鳩A遺跡	羽津	宅地造成
9	上野遺跡(隣接地)	阿倉川	宅地造成
10	斑鳩B遺跡(隣接地)	羽津	鉄塔建設
11	海星学園内遺跡(隣接地)	大治田	個人住宅
12	下之宮遺跡	下之宮町	宅地造成
13	雲天遺跡	大矢知町	個人住宅
14	蒔田城跡(隣接地)	蒔田	個人住宅
15	赤堀城跡	赤堀	既存建解体
16	北山遺跡	北山町	電柱立替
17	上里遺跡	久保田	下水管渠布設
18	桶尻谷遺跡	中村町	鉄塔建設
19	久留倍遺跡	大矢知町	個人住宅
20	井詰遺跡	いかるが町	電柱支線打替
21	北垣内遺跡	桜町	下水管渠布設
22	松ノ木遺跡	采女町	個人住宅
23	四方天遺跡	大矢知町	電柱移設
24	浄裕遺跡(隣接地)	中川原	個人住宅
25	井詰遺跡	いかるが町	住宅建設
26	小判田遺跡	芝田	下水管渠布設
27	上野遺跡(隣接地)	阿倉川	個人住宅
28	大矢知山畑遺跡	大矢知町	携帯電話用基地
29	永井遺跡	尾平町	下水管渠布設
30	宮の西遺跡	中川原	下水管渠布設
31	上野遺跡(隣接地)	阿倉川	個人住宅
32	斑鳩B遺跡	羽津	個人住宅
33	小判田遺跡	芝田	寄宿舎建設
34	伊勢安国寺跡	西日野町	個人住宅
35	坪ノ内遺跡(隣接地)	高角	個人住宅
36	貝野遺跡	坂部が丘	既存建解体
37	観音寺跡	垂坂町	電柱線取付
38	下之宮遺跡	下之宮町	個人住宅
39	東山遺跡(隣接地)	朝明町	個人住宅
40	茂福城跡	茂福町	道路側溝工事
41	トノサンマイ	市場町	農業基盤整備

指定文化財の保存整備

国・三重県・四日市市の指定文化財で、保存を図るために必要な修理などを下記の通り行った。

対象文化財	目的	補助金交付		
		国	県	市
市指定民俗文化財（無形）「南楠鯨船行事」	老朽化のため、車輪・車軸の補修			○
市指定有形文化財（建造物）「龍王山宝性寺」	火災による被害の修理			○

18年度の文化財指定

種別	名称	員数	所在地	所有者	指定日	指定書
県指定有形文化財(工芸品)	槍 銘 雲林院住包智治	1口	四日市市立博物館	四日市市	H19.3.27	工67号
国指定記念物(史跡)	久留倍官衙遺跡	1	四日市市大矢知町 字矢内谷	国土交通省	H18.7.28	告示111号

文化財関連会議

(1)文化財パトロール調査員会議

埋蔵文化財や記念物などの管理及び環境保全の現状について調査を行う文化財パトロール調査員の会議

開催日	場所	内容
H18.4.18	四日市市役所	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度パトロール調査員の委嘱 平成17年度のパトロール調査員活動の成果報告 平成18年度のパトロール計画について協議

(2)北勢四市文化財協議会

四日市・桑名・鈴鹿・亀山の4市の文化財保護審議会委員相互の連絡を保ち、文化財保護事業の推進を図る。

開催日	場所	内容
H19.2.24	桑名市	<ul style="list-style-type: none"> 各市の文化財保護の取組み状況報告 「桑名の石取祭展」見学

(3)文化財保護審議会

教育委員会の諮問に応じて文化財の調査や保存・活用について審議し、必要と認めることを建議する。

開催日	場所	内容
第1回 H18.7.14	四日市市役所	<ul style="list-style-type: none"> 四日市市文化財保護審議会委員の委嘱 文化課平成17年度事業報告と社会教育課18年度事業予定について 国指定史跡「久留倍官衙遺跡」学術調査現場 見学
第2回 H19.2.5	四日市市役所	<ul style="list-style-type: none"> 有形文化財（書跡）指定申請に対する協議 民俗文化財（無形）大念仏の一部変更にかかる協議

(4)御池沼沢植物群落連絡調整会議

御池沼沢植物群落の計画的な維持管理について、関係者との連絡調整をはかる。

開催日	場所	内容
H18.11.1	四日市市役所	国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」の維持管理について

国・県・市指定文化財一覧表

◆文化財保護法で指定・登録されている文化財（国指定文化財・登録有形文化財）

種別	No.	名称	所在地・所有者（管理者）	概要及び指定年月日
有形文化財	建造物	1	四日市旧港港湾施設	港地区・稲葉町、高砂町四日市市 明治26・27年に築造の近代化遺産（港湾）。旧港北・西防波堤、波止場改築記念碑稲葉三右衛門君彰功碑。平成8年12月10日指定。
		2	末広橋梁（旧四日市港駅鉄道橋）	港地区・千歳町、浜田地区・末広町間、日本貨物鉄道（株）他 現役で稼働する国内最古の鉄道可動橋であり、「鉄の橋百選」にも選ばれている。平成10年12月25日指定。
	彫刻	3	慈恵大師坐像	大矢知地区・垂坂町観音寺 南北朝時代。木造桧材寄木造りで、像高80.3cm。胎内に「観応2年（1351）大仏師大口法橋乗賢」の墨書。大正2年8月20日指定。
		4	不動明王立像	日永地区・日永二丁目大聖院 平安時代。木造桧材一木造りで、像高95cm。寺伝によると、この像は源頼義の念持仏であったといわれる。大正4年8月10日指定。
		5	阿弥陀如来立像と像内納入文書	富田地区・南富田町善教寺 鎌倉時代。木造桧材寄木造りで、玉眼・漆箔が施してあり、像高79cm。像内納入文書の大半は摺仏。昭和34年12月18日指定。
	工芸品	6	十六間四方白星兜鉢	浜田地区・鶴の森一丁目鶴森神社 鎌倉時代。径23cm。16枚の鉄板によって組合わせられ、その四方には銀の鍍金が施されていたといわれる。昭和30年2月2日指定。
民俗文化財記念物	無形	7	鳥出神社の鯨船行事	富田地区・東富田町ほか富田鯨船保存連合会 鳥出神社の例大祭奉納行事で、神社丸・神徳丸・感應丸・権現丸の4台ある。平成9年12月15日指定。
		8	北勢・熊野の鯨船行事	富田・港・塩浜・楠地区各鯨船山車保存会 尾鷲市の鯨船とともに、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」。平成元年2月27日選択。
	史跡	9	久留倍官衙遺跡	大矢知地区・大矢知町国土交通省 弥生時代～中世。主な遺構は古代の官衙施設で他の官衙にはみられない東を向く政庁・正倉院・その他施設を伴い、官衙の全体像や変遷を知ることができる全国的にも貴重な遺跡。平成18年7月28日指定。
	天然記念物	10	東阿倉川イヌナシ自生地	海蔵地区・大字東阿倉川四日市市 明治35年4月に発見され、世界の植物学界に紹介された。日本の野生ナシの中で最も原始的な種。大正11年10月12日指定。
		11	西阿倉川アイナシ自生地	海蔵地区・大字西阿倉川四日市市 明治36年6月に発見された非常に珍しいナシ。イヌナシと栽培されているナシの中間の種。大正11年10月12日指定。
		12	御池沼沢植物群落	三重地区・西坂部町四日市市 東部沼沢地に暖地性ミクリガヤの草木群落、西部沼沢地に寒地性ヤチヤナギの灌木群落がある。昭和27年10月11日指定。
登録有形文化財	建造物	13	旧東洋紡績株式会社富田工場原綿倉庫	富洲原地区・富洲原町三菱UFJ信託銀行株式会社 大正6年に建築された東洋紡績富田工場原綿倉庫。国土の歴史的景観に寄与している近代建築。平成12年4月28日登録。
		14	旧四日市市立図書館	浜田地区・諏訪栄町四日市市 昭和4年、昭和天皇御大典記念事業として四日市の事業家、熊沢一衛氏が寄付したもの。平成15年1月31日登録。
		15	宮崎本店事務所	楠地区・楠町株式会社宮崎本店 宮崎本店は古くから続く酒造業の老舗。木造2階建の事務所は、2階外壁の一部をタイル張りとする洋風建築で、正面妻壁上部のモチーフに特徴がある。平成8年12月26日登録。
		16	宮崎本店貯蔵庫A棟	楠地区・楠町株式会社宮崎本店 切妻造の重厚な構えになる大型の倉庫。他の倉庫群と異なり、腰下羽目板張りで、上部は下見板張りとなっている。平成8年12月26日登録。
		17	宮崎本店第4倉庫	楠地区・楠町株式会社宮崎本店 3連の大型倉庫で元は酒蔵として造られたといわれる。整然とした外観は、酒造倉庫群の景観を引き立てている。平成8年12月26日登録。
		18	宮崎本店第8倉庫	楠地区・楠町株式会社宮崎本店 外壁は土壁であるが、現在は亜鉛引き鉄板で覆われている。平成8年12月26日登録。
		19	宮崎本店貯蔵庫	楠地区・楠町株式会社宮崎本店 並列する2棟の倉庫をH型に連結した形式になり、各面に庇が取り付く。茶色の煉瓦造の煙突が付属している。平成8年12月26日登録。

◆三重県文化財保護条例で指定を受けている文化財（県指定文化財）

種別	No.	名称	所在地・所有者（管理者）	概要及び指定年月日
有形文化財	絵画	20	仏涅槃図	四日市市立博物館大樹寺 南北朝時代。縦169.5cm。横122.5cm。画面に「詫磨法眼栄賀筆」の落款がある。中世仏画の伝統をよく示す。昭和27年3月13日指定。
		21	真源大沢禅師像	四日市市立博物館大樹寺 室町時代。縦97.5cm。横49.5cm。右手に払子を持ち、法被をかけた曲ろくに坐した斜右向きの像。昭和27年3月13日指定。
		22	禅源大済禅師像	四日市市立博物館大樹寺 室町時代。縦96.3cm。横49.3cm。画像の法被は折蘆描。袈裟は鉄線描で、顔と手の部分は写実的な柔らかい細線描。昭和27年3月13日指定。
		23	仏涅槃図	大矢知地区・垂坂町観音寺 室町時代。縦159cm。横122cm。軸木の墨書の銘文によって、奈良の絵師、芝法眼尊仲が永禄4年（1561）3月5日に完成したものと判る。昭和32年3月29日指定。
		24	絹本着色釈迦三尊十六善神像	日永地区・日永二丁目大聖院 鎌倉時代。縦111.7cm横55.7cm。四日市市に現存する絵画としては最も古い作品であり、鎌倉時代の仏教画の作風をつたえるものとして貴重。平成17年3月17日指定。
	彫刻	25	地藏菩薩坐像	羽津地区・羽津山町正法寺 鎌倉時代。木造桧材寄木造りで、彩色・玉眼を施している。総高29cm。胎内に2点の納入物があった。昭和29年4月1日指定。
		26	誕生釈迦仏立像	大矢知地区・垂坂町観音寺 平安時代。木造桧材一木造りで、総高35.5cm。礼拝仏として作られたものと考えられる珍しい木彫像。昭和30年4月7日指定。
		27	地藏菩薩坐像	大矢知地区・垂坂町観音寺 鎌倉時代。木造桧材寄木造りで、玉眼を施した結跏趺座の坐像。像高80cm。銘文が膝の裏に墨書されている。昭和31年5月2日指定。
		28	阿弥陀如来坐像	四郷地区・西日野町正野寺 平安時代。木造桧材寄木造りで、玉眼を施している。像53.5cm。昭和32年3月29日指定。
29	仏頭	四郷地区・西日野町正野寺 平安時代。木造桧材一木造りで、彩色を施している。総長23.6cm。もと伊勢安国寺にあった仏像の残欠。昭和32年3月29日指定。		

種別	No.	名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日	
有形文化財	彫刻	30	毘沙門天立像	三重地区・生桑町千福寺	鎌倉時代。木造絵材寄木造りで、玉眼・彩色を施している。総高111.5cm。彫技、彩色ともに優れた像。昭和38年1月11日指定。
		31	薬師如来立像	大矢知地区・垂坂町観音	平安時代。木造絵材寄木造りで、漆箔を施している。総高151cm。昭和39年10月16日指定。
		32	如意輪観音坐像	日永地区・大字六呂見観音	平安時代。木造櫃材寄木造りで、彩色・漆箔を施さない素地仕上げ。像高29.8cm。平成11年3月17日指定。
		33	木造阿弥陀如来立像 附像内納入文書1巻19枚	富洲原地区・富田一色町龍泉寺	鎌倉時代。木造絵材割削造で、漆箔・玉眼を施している。像高36.9cm。胎内に経巻1巻、摺仏19枚が納められていた。平成16年10月18日指定。
	工芸品	34	太刀 (銘一永仁四年七月)	共同地区・中部個人	鎌倉時代。刀長78.5cm、反り2.8cm。呂針穴2個。備前国助光の作で吉岡一文字一派のものである。昭和27年3月13日指定。
		35	陶製灯籠 (萬延元年射和萬古製)	四日市市文化会館四日市市	江戸時代。高さ174cm、上笠の径50cm。沼波弄山の系統を引く射和萬古で、薄緑色の釉薬が流れ、風雅な姿を保つ。昭和57年4月27日指定。昭和10年12月18日国認定重要美術品。
		36	林コレクション萬古焼	四日市市立博物館四日市市	江戸時代中期～江戸時代末期。古萬古30点を中心に、吉安東5点、有節萬古13点、射和萬古2点、再興安東1点、四日市萬古2点から構成され、萬古焼の系譜を大観できる資料内容。平成18年3月17日指定。
		37	短刀銘藤正	四日市市立博物館四日市市	室町時代。長さ26.3cm。茎は、「藤正」の銘をもち、「村正一派」特有の張り出した形をしている。刃文は、波を打ったようによく乱れている。平成18年3月17日指定。
	書跡	38	槍銘雲林院住包治	四日市市立博物館四日市市	室町時代。長さ40.4cm。身幅5.5cm。身幅広く姿の整った堂々たる槍である。赤羽刀の一つであるが作風は大和の手掻派より相州伝に近いものがある。平成19年3月27日指定。
		39	大般若若經 (120帖)	保々地区・市場町大樹寺	平安～鎌倉時代。286.263.265.430の4巻に「永禄十二年己巳菊月日宗照首座修補之」の銘記がある。昭和27年3月13日指定。
40		銅鐸	四日市市立博物館菟上耳利神社	弥生時代。総高40.3cm。文久2年(1862)3月21日に朝明郡伊坂村で発見された。偏平鈕式六区袈裟襷文銅鐸。昭和27年3月13日指定。	
民俗文化財	有形	41	蝙蝠堂民俗玩具	富田地区・富田一丁目個人	収集・保有されている民俗玩具は、種類も多種多様で、日本をはじめ中国・韓国などのものもある。昭和31年5月2日指定。
		42	鯨船山車	港地区・南納屋町南納屋町鯨船山車明神丸保存会	鯨船の起源については明らかではないが、安永年間(1772～1780)頃の記録に「鯨つき」という名で出ている。昭和31年12月5日指定。
		43	大入道山車	港地区・中納屋町中納屋町大入道保存会	文化2年(1805)に名古屋の人形師によって作られたといわれる精巧なカラクリ人形。昭和51年3月31日指定。
記念物	史跡	44	富田の一里塚跡	富田地区・富田三丁目富田文化財保存会	三ツ谷・日永・采女とともに、東海道の四日市における一里塚跡のひとつ。昭和12年11月10日指定。
		45	日永の追分	日永地区・追分三丁目四日市市日永連合自治会	東海道と伊勢街道の分岐点。四日市・石薬師の両宿場の中間に位置するので、別名「間の宿」という。昭和13年4月12日指定。
		46	日永の一里塚跡	日永地区・日永五丁目四日市市	元禄2年(1689)に菱川師宣の描いた「東海道置駅図」に一里塚の位置が明記されている。昭和13年4月12日指定。
		47	天武天皇 迹太川御遥拝所跡	大矢知地区・大矢知町四日市市大矢知町齊宮自治会	天武天皇が壬申の乱の時、ここから伊勢神宮を遥拝されたという言い伝えがある。昭和16年5月21日指定。
		48	伊勢安国寺跡	四郷地区・西日野町四日市市西日野町自治会	平安時代。旧名五位鳥山西明寺。元弘2年(1332)に改称。昭和16年9月26日指定。
	49	広古墳A群	下野地区・大鐘町四日市市	古墳時代。古墳は2群に分かれ、A群は小型の方墳2基、円墳2基、B群は中型の方墳2基と小型の円墳1基。このうちA群の1・2号墳が昭和44年3月28日指定。	
天然記念物	50	川島町のシデコブシ群落	川島地区・川島町個人	丘陵斜面の湧水池付近に樹高4mの成木が約30株、比較的密な群生をなしている。平成3年3月26日指定。	

四日市市文化財保護条例で指定している文化財(市指定文化財)

種別	No.	名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日	
有形文化財	建造物	51	観音寺山門	大矢知地区・垂坂町観音寺	江戸時代。本柱を中心とする構築式の構造で、関西地方では極めて珍しい構造の四脚門である。昭和52年3月23日指定。
		52	龍王山宝性寺	大矢知地区・蒔田二丁目四日市市蒔田町第一自治会	江戸時代。木造二重屋根御堂造瓦葺で、本堂は上棟木札によると、享保4年(1719)己亥6月に建立。昭和52年10月6日指定。
		53	旧四日市市役所四郷出張所 (四郷村役場)	四郷地区・西日野町四日市市	明治時代の建築様式の面影を伝える擬洋風の木造2階建一部3階建塔屋付建物。大正10年に建設。昭和57年2月16日指定。
		54	顕正寺山門	四郷地区・西日野町顕正寺	江戸時代。旧神戸城大手門を明治9年に解体・移築。高麗門形式で、近世城門の典型をなしている。平成2年3月30日指定。
		55	旧庄屋岡田邸	楠地区・楠町四日市市	江戸時代。主屋・立會所は木造平屋建、蔵は木造2階建。主屋・蔵は築250年を経ていると言われ、北勢地方でも現存する数少ない庄屋屋敷である。平成14年6月28日指定(追加指定:平成14年12月25日)
	絵画	56	広山和尚画像	四日市市立博物館大樹寺	江戸時代。縦109cm、横51.5cm。画像の上に広山和尚自筆の讚がある。したがって、この画像は寿像である。昭和34年3月25日指定。
		57	仏涅槃図	四日市市立博物館建福寺	室町時代。縦215.2cm、横166.3cm。図の蓋に「涅槃像大幅兆殿司筆東溟山建福寺什物天文五年春王穀旦」の墨書。昭和35年3月28日指定。
	彫刻	58	薬師如来坐像	日永地区・日永四丁目薬師寺	鎌倉時代。木造絵材寄木造りで、漆箔を施す。像高87.5cm。胎内背面に修理の際の墨書がある。昭和31年2月18日指定。
		59	大日如来坐像	神前地区・寺方町大日寺	平安時代。木造絵材寄木造りで、玉眼、漆箔を施し、総高314cm。昭和31年2月18日指定。

種別	No.	名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日		
有形文化財	彫刻	60	地藏菩薩坐像	塩浜地区・馳出町一丁目地蔵堂	平安時代。木造絵材一木造りで、漆箔を施し、像高43.9cm。左手に宝珠、右手に錫杖を持ち蓮華台に座す。昭和33年2月6日指定。	
		61	釈迦如来坐像	小山田地区・六名町光輪寺	鎌倉時代。木造絵材寄木造りで、通有の如来形像。像高76.5cm。平成3年6月24日指定。	
		62	釈迦如来坐像	内部地区・貝塚町上品寺	平安時代。木造樟材一木造りで、漆箔を施す。像高98.9cm。江戸時代後補の膝前材裏面に、修理の際の墨書がある。平成14年1月31日指定。	
		63	釈迦如来坐像	小山田地区・山田町(暁覚寺)釈迦如来坐像・十一面観音菩薩立像保存会	鎌倉時代。木造絵材寄木造で、金泥が残るが、元は漆箔を施していたと考えられる。像高89.0cmで玉眼を施す。平成16年8月19日指定。	
		64	十一面観音菩薩立像	小山田地区・山田町(安性寺)釈迦如来坐像・十一面観音菩薩立像保存会	平安時代。木造絵材寄木造で、金泥が残るが、元は漆箔を施していたと考えられる。像高104.3cm。平成16年8月19日指定。	
	工芸品	65	(志野焼) 狛犬	羽津地区・大宮町志氏神社	志氏神社の社宝。約300年前の製作と推定されている。昭和31年2月18日指定。	
		66	古萬古赤絵龍文大鉢 古萬古赤絵斗鶏文雪輪手鉢 古萬古灰釉鶴亀陽刻文茶碗	共同地区・中部個人	江戸時代。いずれも沼波弄山の作。昭和55年6月25日指定。	
	書	67	羽津・阿倉川土地紛争の判決文書	浜田地区・安島一丁目四日市市立博物館	江戸時代。縦190.8cm、横215.5cm。寛延3年(1750)に羽津・阿倉川村で起こった地境紛争の際の判決文書。昭和31年2月18日指定。	
		68	水沢・堂ヶ山野境紛争の判決文書	小山田地区・堂ヶ山町四日市市立博物館	江戸時代。縦250cm、横340cm。宝暦年中(1751~1764)に水沢・堂ヶ山村で起こった野境紛争の際の判決文書。昭和34年3月25日指定。	
		69	六名町古文書	四日市市立博物館四日市市六名町自治会	江戸時代。当時の六名村の古文書。土地台帳、検見・貢租・宗門・普請関係などの史料がある。昭和34年3月25日指定。	
	跡	70	井島文庫	浜田地区・安島一丁目四日市市立博物館	江戸時代。井島家所蔵の検地・貢租・廻船・絵図・地図など。昭和35年3月28日指定。昭和60年1月19日追加指定。	
		71	古文書	浜田地区・安島一丁目四日市市立博物館	江戸時代。天春家所蔵の古文書。土地・貢租・宗門・証文・新田開発など300点の史料がある。昭和39年5月28日指定。	
	考古資料	72	志氏神社古墳出土品	羽津地区・大宮町志氏神社	古墳時代。嘉永5年(1852)3月に発見。出土品には車輪石・勾玉・管玉・小玉・内行花文鏡がある。昭和31年2月18日指定。	
		73	茶白山古墳群出土品(須恵器群・埴輪群)一括	文化財整理作業所四日市市教育委員会	古墳時代。平成5年に行った4号墳の発掘調査と平成9年の1号墳の発掘調査で検出した須恵器群・埴輪群32点。平成18年2月23日指定。	
		74	御池古墳群出土品(裝飾須恵器・特殊須恵器)一括	文化財整理作業所四日市市教育委員会	古墳時代。平成3年に行った発掘調査で検出した裝飾須恵器と特殊須恵器5点。須恵器有蓋三足壺・須恵器裝飾付壺などがある。平成18年2月23日指定。	
		75	裝飾須恵器 台付三連壺(北中寺遺跡出土)	文化財整理作業所四日市市教育委員会	古墳時代。平成4年に行った発掘調査で検出した台付三連壺。器高38.8cm。6世紀前半頃のものと考えられる。平成18年2月23日指定。	
	無形文化財	工芸技術	76	四日市萬古焼	〔保持団体〕橋北地区・京町四日市萬古焼伝統技術保存会	伝統的技術・技法の手ろくろ成形・押型成形・手びねり成形・素地模様付け・上絵付けを指定。平成5年8月3日指定・認定。
			77	四日市萬古焼(手ろくろ成形)	〔保持者〕富田地区・茂福町伊藤敏(号美月)	手ろくろ成形において非常に優れた技術・技法を習得し、かつ後継者育成に大変貢献している。平成5年8月3日指定・認定。
	民俗文化財	有形	78	椿岸神社獅子頭	桜地区・智積町椿岸神社	「2人立ち」獅子舞の獅子頭として通有の形態をしている。舌裏に永正6年(1509)の墨書銘がある。平成5年5月10日指定。
			79	算額	川島地区・川島町神明神社	江戸時代。絵馬の一種で、和算学者が数学の新しい問題や解法を得た際に額に表して奉納したもので3面ある。平成11年9月28日指定。
			80	四日市蕉風連中奉納歌仙額	大矢知地区・垂坂町観音寺	江戸時代。巻末に「元文三年(1738)正月」の墨書銘があり、一二吟歌仙一巻に収める。平成13年7月19日指定。
81			奉納御座船模型	富田地区・富田二丁目鳥出神社	江戸時代に將軍、大名などが乗った御座船の10分の1の模型。奉納例は全国的にも珍しい。平成15年8月21日指定。	
無形		82	大念仏	四郷地区・東日野町・西日野町大念仏東日野・西日野保存会	西日野町の西明寺に起こった魔障を禁じたという故事にならって行われる仏教的な行事。昭和30年3月30日指定。	
		83	つんつくおどり	日永地区・日永一丁目日永つんつく踊り保存会	古くから日永地区に伝わる郷土色豊かな踊り。毎年8月15日を中心に3日間行われる。昭和31年2月18日指定。	
		84	お諏訪おどり	水沢地区・水沢町お諏訪踊り保存会	毎年7月31日に足見田神社で奉納される水まつり。起源は足見田神社由緒によると、享保5年(1720)。昭和48年1月7日指定。	
		85	北野町獅子舞	県地区・北野町北野町獅子舞保存会	御館獅子舞と同じ椿山本流の直伝で、演舞についても、素朴な中にも高度の芸術性を保持している。昭和49年4月17日指定。	
		86	御館獅子舞	三重地区・西坂部町御館獅子舞保存会	椿山本流の直伝で、古式をよく伝えている。昭和49年4月17日指定。	
		87	市場町獅子舞	保々地区・市場町市場町獅子舞保存会	豊年の祈願として市場町に伝わる箕田流の獅子舞で、毎年10月9日の殖栗神社祭礼で演舞される。昭和49年4月17日指定。	
		88	大名行列	共同地区・元町奴	戦前は久六町の上りと比丘尼町の下りがあったが、現在では比丘尼町(現・元町)のみが残っている。平成4年6月30日指定。	
		89	椿岸神社獅子舞	桜地区・智積町椿岸神社獅子舞保存会	一時途絶えていたのが、戦後復活された「鳥差しの舞」という他所に見られない舞が伝承されている。平成4年6月30日指定。	
		90	磯津の鯨船行事	塩浜地区・大字塩浜磯津鯨船保存会	鯨船本体などを旧東袋町から購入し、大正9年(1920)から塩浜神社の祭礼として毎年9月21日~23日に演じられている。平成7年6月30日指定。	
		91	立阪神社獅子舞	大矢知地区・垂坂町立阪神社獅子舞保存会	箕田流獅子舞の流れを汲み、激しい動きの獅子舞である。花の舞で手鞠を指定するのは他に見られない演技でもある。平成10年7月27日指定。	

種別	No.	名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日
民俗文化財	無形	92	生桑長松神社の大鏡餅神事 三重地区・生桑町 生桑町自治会	特殊な形状の大鏡餅を奉納して新年の祝いと一年の無事を祈る神事。平成14年8月29日指定。
		93	南楠鯨船行事 楠地区・楠町 南楠鯨船保存会	鯨船が出されるようになったのは、明治頃といわれる。祭礼の中心となるのは南御見東神社で、鯨船は「龍神丸」と呼ばれる。平成8年8月29日指定。
記念物	史跡	94	志氏神社古墳 羽津地区・大宮町 志氏神社	古墳時代。北勢地方屈指の前方後円墳。前方部は破壊され、現在後円部のみが保存されている。昭和30年3月30日指定。
		95	大膳寺跡 羽津地区・南いかるが町 四日市市	平安時代。比叡山延暦寺中興の慈恵大師の直弟子である覚鎮がいかるが山のふもとに建立した平地の寺院。昭和30年3月30日指定。
		96	浜田城跡 浜田地区・鶴の森一丁目 四日市市	室町時代。文明2年(1470)に田原美作守忠秀が築城。城跡の一部は現在の鶴の森公園として活用。昭和30年3月30日指定。
		97	経塚公園 下野地区・北山町 四日市市北山町自治会	公園内には、経塚と樹齢数百年を数える桜の大樹と安政6年(1859)に安置された石地藏などがある。昭和31年2月18日指定。
		98	万葉史跡と聖武天皇社 富洲原地区・松原町 聖武天皇社	安貞元年(1227)にここを朝明頓宮跡として神社が創建されたものと伝えられている。昭和31年2月18日指定。
		99	羽津城跡 羽津地区・羽津山町 四日市市	室町時代。応永年間(1394~1428)に田原美作守盛宗が築城。城跡は現在公園として活用。昭和31年2月18日指定。
		100	泗水の井戸 共同地区・北町 建福寺	四日市陣屋を中心にあった水質・水流ともに豊かな4つの井戸のうちの一つ。井戸は石のくりぬき。昭和35年3月28日指定。
		101	茂福城跡 富田地区・茂福町 四日市市	室町時代。平維茂の子孫平貞冬が越前国朝倉より来て築城。近鉄名古屋線の東側の一部が保存されている。昭和49年10月23日指定。
		102	富田一本松 富田地区・東富田町 富田文化財保存会	樹齢700年。昔伊勢湾を航行する船がこの松を目印にした。伊勢湾台風以降衰弱枯死。昭和49年10月23日指定。
		103	冠山茶の木原 水沢地区・水沢町 四日市市冠山茶の木原保存会	水沢地区の製茶の発祥地であり、延喜年間(901~922)に地元の僧が唐伝来の茶の木を植えて栽培したのが始まり。昭和56年3月26日指定。
天然記念物	104	大樟 小山田地区・堂ヶ山町 神明社氏子総代	樹齢800年。根まわり約21m、樹高約24m、樹冠は東西約37m、南北約25m。四日市最大の樟の木。昭和34年3月25日指定。	
	105	桜町シデコブシ群落 桜地区・桜町 個人	モクレン科の一種で、非常に分布範囲の限られた植物。幼木と、樹高4mの成木が20数株群生。昭和57年2月16日指定。	

◆(旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律で認定を受けている文化財(国認定文化財)

種別	No.	名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日
工芸品	106	陶製灯籠 (萬延元年射和萬古製)	四日市市文化会館 四日市市	江戸時代。高さ174cm、上笠の径50cm。沼波弄山の系統をひく射和萬古で、薄緑色の釉薬が流れ、風雅な姿を保つ。昭和10年12月18日認定。
書跡	107	金銀泥絵料紙 墨書御陽成天皇宸翰	港地区・中納屋町 個人	縦93.2cm、横32.6cm。「光陰空莫亘」の文字が書かれている。昭和17年12月16日認定。

- 注 1. 指定文化財の所有者と管理者が異なる場合は、管理者を代表とした。
2. 指定文化財の所有者(管理者)は、指定書にしたがったが、一部変更されているものもある。
3. 文化財保護法で指定を受けている文化財(国指定文化財)のうち、地域を定めず指定されている特別天然記念物カモシカは表中には入れていない。
4. (旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律(昭和8年4月1日 法律第43号)は、文化財保護法(昭和25年5月30日 法律第214号)の制定に伴い、同法附則第114条で廃止されている。ただ、同法附則第116条の規定により、同法施行の際現に(旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律第2条第1項の規定により認定されている物件については「同法は当分の間、なお効力を存する。」とされている。
5. 指定文化財は、いずれも平成19年3月31日現在のものである。

国・県・市指定文化財種類別・指定別一覧表

種類別 指定別	有形文化財								民俗文化財		選択 保存	記念物			伝統的 建築物群	計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	考古資料	芸能	工芸技術	有形	無形		史跡	名勝	天然 記念物		
国指定	2	—	3	1	—	—	—	—	—	1	1	1	—	3	—	12
県指定	—	5	9	5	1	1	—	—	3	—	—	6	—	1	—	31
市指定	5	2	7	2	5	4	—	2	4	12	—	10	—	2	—	55
計	7	7	19	8	6	5	—	2	7	13	1	17	—	6	—	98

地域を定めず指定されている国指定特別天然記念物カモシカを除く。

(旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律で認定を受けている文化財を除く。

	建造物	計
国登録	7	7

埋蔵文化財発掘調査等の経緯(過去10年分)

